

第39回 島根緑内障研究会

(日眼専門医制度生涯教育認定事業 No.59217)

プログラム

日時：2022年11月13日(日)
10時00分～13時15分

場所：ニューウェルシティ出雲
島根県出雲市塩冶有原町2-15-1 (〒693-0023)
Tel 0853 (23) 7388

会費：学会費 3,000円
(コメディカル等・学生 無料)

【大学院講義対象科目】

修士課程選択科目： 再生医学・組織工学(M13), 医療のための光工学の基礎(M29)
理工医学のための生物材料学の基礎(M33)
博士課程選択必修科目：臨床医科学(D5)
博士課程選択科目： 老化Ⅱ(D20), 医療のための光工学(D99)
理工医学のための生物材料学(D103)

お問い合わせ先：医学部眼科学講座(内線2284)

● 出欠のご連絡は右のQRコードからいただくことができます。

(申込期限：11/11(金)正午)



島根緑内障研究会
島根県眼科医会
島根大学医学部眼科学講座
興和株式会社

ー開会のあいさつ(野田佐知子 副会長)

一般講演(10:05-12:05)

座長 松岡 陽太郎 先生
(松江赤十字病院眼科部長)

1. CASIA2 における前房・隅角評価
○島田文香, 谷戸正樹 (島根大学眼科学講座)

2. 緑内障患者におけるマイボーム腺機能不全の頻度
○真鍋 薫, 谷戸正樹 (島根大学眼科学講座)

3. 視野電子データ移送に関するアンケート結果
○谷戸正樹 (島根大学眼科学講座), 原 岳 (宇都宮市・原眼科病院),
相原 一 (東京大学眼科学講座)

4. ビデオ撮影・アンケートを用いた緑内障患者における点眼成功率についての検討
○石田晃子¹, 持地美帆子¹, 筒井愛佳¹, 市岡 昇¹, 高柳佑士¹,
片岡裕美子², 高木泰孝², 椎 大介², 谷戸正樹¹
(1. 島根大学眼科学講座, 2. 参天製薬株式会社)

座長 杉原 一暢 先生

5. Flow characteristics of Ahmed Glaucoma Valve
○Masdipa Andi, Sachiko Kaidzu, Masaki Tanito (島根大学眼科学講座)

6. Challenges with using a capsulorhexis device
○ Kalambe Sheriff Aisha, Ichiya Sano, Kazunobu Sugihara, Sho Ichioka,
Akiko Ishida, Ayaka Shimada, Masaki Tanito (島根大学眼科学講座)

7. 当院におけるマイクロパルス毛様体光凝固術(MPCPC)の術後成績
○松岡陽太郎, 藤原悦子, 池田欣史 (松江赤十字病院眼科)

8. Microhook ab interno の中期成績(切開範囲の比較)
○杉原一暢, 島田文香, 市岡 昇, 石田晃子, 谷戸正樹
(島根大学眼科学講座)

一休憩(12:05-12:15)

特別講演 I (12:15-13:15) ～ランチョン形式～

座長 谷戸 正樹 教授

緑内障に関する最近の話題: QOL、DH、PPG

福地 健郎 先生

(新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野・教授)

緑内障に関する最近の話題を3つ。QOL: 緑内障治療の目的は生涯の QOL の維持である。私たち眼科医は緑内障による視野障害がどのような QOL にどのように影響するのかについて理解を深める必要がある。コントラスト感度測定など別な視機能指標も緑内障患者の QOL 評価に有用な可能性がある。DH: 乳頭出血 (DH) は緑内障の発症、進行に関わる強力な危険因子である。DH(+)眼と DH(-)眼でクラスター別視野障害進行について比較した。DH(+)眼では視野障害の進行が速いだけでなく中心近傍、下半視野障害の進行が速い。また DH(+)の他眼は DH(-)でも、両眼とも DH(-)眼に比較すると視野障害進行が速い傾向がみられる。PPG: 緑内障診療ガイドライン第 4 版で「前視野緑内障、Preperimetric glaucoma (PPG)」という用語が正式に採用された。今回は興味ある自験例を紹介し、PPG の診断と経過観察、治療について議論したいと思う。

—閉会のあいさつ (谷戸 正樹 教授)—